

2017年6月16日

株式会社 電通
代表取締役社長執行役員 山本 敏博
(東証第1部 証券コード: 4324)

**電通、企業のデジタルトランスフォーメーションを支援する英国のコンサルティング会社
「カスタマー・フレームワーク社」の株式100%取得で合意**

株式会社電通（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員：山本 敏博、資本金：746億981万円）の海外本社「電通イージス・ネットワーク」は、企業のデジタルトランスフォーメーション（デジタルによる変革）を支援する英国のコンサルティング会社「The Customer Framework Limited」（本社：ロンドン市、CEO & Chairman：Neil Woodcock、以下「カスタマー・フレームワーク社」）の株式100%を取得することにつき、同社株主と合意しました。

2006年に設立されたカスタマー・フレームワーク社は、デジタルによる変革やデータ活用の重要性が高まる中、その領域における知見・ノウハウに強みを持ち、企業による消費者との対話やエンゲージメント、またそのプロセスの管理を再構築する支援を行っています。

本件買収の狙いは、カスタマー・フレームワーク社が独自に保有する消費者との対話プロセスを管理する方法論「SCHEMA」（スキーマ）の獲得にあります。当社は、SCHEMAを活用して、顧客企業の経営層がデジタルトランスフォーメーション戦略を立案する際の支援を行うことを通じて、顧客とのより強固な戦略関係の構築が実現できると判断しました。

今後、Carat（カラ）をはじめとする当社のグローバルネットワーク・ブランドの各社[※]は、カスタマー・フレームワーク社の協力を得て、その方法論をサービス全体のバックボーンとして取り入れていきます。これにより、ブランド各社は提案時における競合他社との差別化を図り、その方法論をグローバルに展開する顧客企業に提供することで、既存ビジネスとのシナジーを創出していきます。

なお、本件が当社の2017年12月期の連結業績に与える影響は軽微です。

[※]電通の海外事業を統括する「電通イージス・ネットワーク社」（ロンドン）は、10のグローバルネットワーク・ブランドを中心に世界でビジネスを展開しています。10のブランドとは、Carat、Dentsu（Dentsu Brand Agencies）、dentsu X、iProspect、Isobar、mcgarrybowen、Merkle、MKTG、Posterscope、Vizeumを指します。

【カスタマー・フレームワーク社の概要】

社名 : The Customer Framework Limited (カスタマー・フレームワーク社)
本社所在地 : 英国・ロンドン市
設立 : 2006年10月
株主構成 : 株式取得後、電通イージス・ネットワーク 100%
収益(Revenue) : 190万イギリスポンド(約2.7億円)(2016年12月期)
代表者 : Neil Woodcock (CEO & Chairman)
従業員数 : 4名(他に、フリーランス13名との契約有)
事業内容 : デジタルトランスフォーメーションに関するコンサルティング

以上